



孺恋村は2050年に向け 「つまごい5つのゼロ」を宣言します！

世界中で気候変動の影響とみられる自然災害の激甚化が顕著になっています。

昨年10月の台風19号では、本村でも過去最大級といえる甚大な被害がありました。気候変動は、人間社会の存続を脅かしています。今こそ強い危機感を持ちながら地球温暖化防止に向けた最大限の取り組みを実行し、未来を担う世代に安心して生活できる環境を引き継いでいかなければなりません。

よって、本村では環境省の気候危機宣言、2050ゼロカーボン、脱炭素社会を目指すとともに、群馬県の5つのゼロ宣言の取り組みと連携しながら、災害に強く持続可能な社会の構築と村民の幸福度を向上させるため、2050年に向け「つまごい5つのゼロ」を宣言します。

令和2年（2020年）9月1日

孺恋村長 熊川 栄

宣言1 自然災害による死者「ゼロ」

■孺恋村の強靱化とともに、村民の防災意識を高め、自然災害による死者をゼロにする。

【主な取組】

- ・災害に強い村づくりに向け、ソフト・ハードの両面から取組を徹底
- ・「自らの命は自ら守る」という防災意識の徹底

宣言2 温室効果ガス排出量「ゼロ」

■豊富な水資源・森林資源や本村の恵まれた再生可能エネルギー資源を最大限活用して温室効果ガスの排出量を実質ゼロにする。

【主な取組】

- ・本村の再生可能エネルギー自給率100%超を維持（2018年度：227.7%、全国第33位）
- ・省エネ、節電対策のさらなる推進 ※永続地帯2019年度版報告書より

宣言3 災害時の停電「ゼロ」

■エネルギーの自立・分散化により、災害時にも電力供給を継続する。

【主な取組】

- ・周辺の電力系統から独立した電力供給網の構築（地域マイクログリッド）

宣言4 プラスチックごみ「ゼロ」

■環境中に排出されるプラスチックごみをなくす。

【主な取組】

- ・プラスチックのライフサイクル全体を通じた資源循環の構築
- ・使い捨てプラスチック製品の使用削減、代替素材への転換促進

宣言5 食品ロス「ゼロ」

■「MOTTAINAI」（もったいない）の心で食品ロスをなくす。

【主な取組】

- ・食品ロス削減「MOTTAINAI運動」の展開
- ・食品製造業や流通小売業等の食品ロスゼロの推進